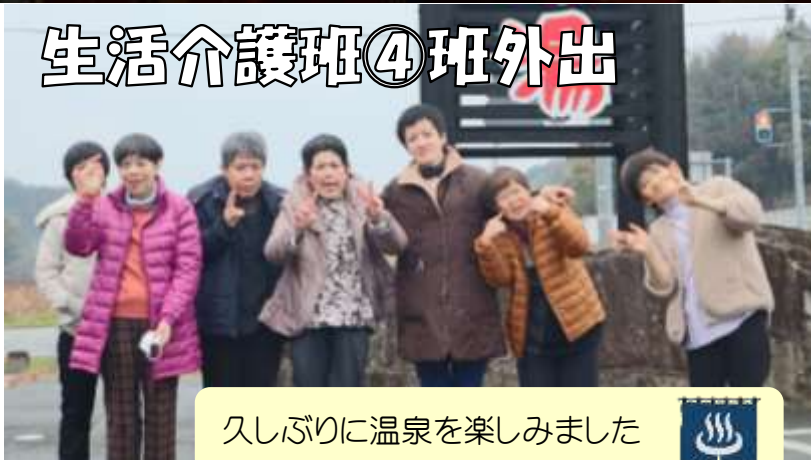


やさしさいっぱいコンサート



楽しい歌をたくさん歌っていただきました 🎵

生活介護班④班外出



久しぶりに温泉を楽しみました



生活介護班③班温泉外出

里だより

No.360

令和4年1月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



一月号もくじ



行事予定・ ありがとうございます 編集後記……………7	研修報告・行事報告……………5	サービス向上委員会より……………4	職員より・調理場より……………3	主任より……………3	サビ管より……………2	施設長より……………1 (ページ)
-----------------------------------	-----------------	-------------------	------------------	------------	-------------	----------------------

つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



施設長より

新春のお喜びを申し上げます。



あけましておめでとうございます。旧年中は、大変お世話になりました。

令和二年度は、新型コロナウイルス感染予防の一環として、施設開設以来、初めての年末年始外泊の中止をさせていただきました。今年度は、十一月にリスクレベルも下がり、県内の感染者数0人が連続三十日を超え、外泊も行えるようになりました。

ただ、新しい変異株の発生状況を注視する日が続いています。弱毒化していて、インフルエンザや風邪ぐらいのウイルスになるのではないかとの噂もあります。楽観できるものではありません。そもそも、風邪に罹るのも気を付けなければなりませんので、ちよつとした気の緩みが、ウイルスを持ち込んでしまうということをお忘れのないようにしたいと思います。

さて、感染予防で視野が狭くなり、外出も控えると、季節感も肌で感じるものが少なくなりそうです。そのような中、年間行事を行うことで季節を感じるができます。昨年を振り返ってみますと、四季折々、活動棟や食堂で感じる事ができ、心なしかスタッフの装飾にも力が入っていたようです。「もうこんな季節か」と利用者さんが話されていると、嬉しい気分になります。

季節感は、イベントだけでなく、季節の変わり目に行う衣替えなど、普段の生活にも垣間見えます。寒くなったら長袖、暑くなったら半袖。当然のようですが、職員のお手伝いが必要な方も多

くいらつしやいます。このようなケアは、一律のマニュアルで補えるものではないかもしれません。ある一定の時期に衣替えができて、日によって気温の変化があり、その都度、衣類の調整で対応しなければなりません。「気づきの感度」が必要だと思えます。肌寒い日があったとして、「肌寒い↓(自分の) 上着を着よう」と感じた人と、「肌寒い↓(自分の) 上着を着よう」と感じた人と、「肌寒い↓(自分の) 上着を着よう」と感じた人では、ケアにも大きな差が出てきます。ケアを受ける利用者さんからしても、安心感が変わってくるのではないのでしょうか。

利用者さんの状態の変化も「いつもの表情」と感じる人と「目つき険しい? いつもと違う?」に気づく人ではケアの仕方も変わってきて、事前にトラブル(病気や事故)を回避できたりします。自己中心的な価値観に身を置いてしまつて、気づきの感度を鈍らせないようにしなければなりませんね。気づきの感度を上げると、普段行っているケアは一方的なことではなくて、自分たちに返ってきていることに気づきます。何かしらの相互作用が働いていることに気付くと、誰かを支えていたつもりが、実は誰かに支えられていて、それが感謝へと変わります。細やかな季節の装飾も、「利用者さんのために」が、利用者さんやその周りの人の心を和ませ、その柔和さが自分たちに返ってきている。施設に持ち込まないよう気を張り詰めて徹底したコロナ予防は、自分たちにもメリットになつている等々。今年度は、気づく感度を磨き、少しでも多くの感謝を伝えられる一年にしたいと思つています。今年度も利用者・職員一同、つくしの里を宜しく願ひします。

施設長 松永一博

サビ管より

令和三年のゴールデンウィーク、お盆は、新型コロナウイルスの感染者が多く、外泊が出来ませんでしたので、年末年始は、久しぶりの外泊を楽しまれたことと思います。感染者の少ない間に、外泊に加え、外出もしていきたいと思えます。

令和三年度は、九月と十一月にグループホームに新しく二名の入居者を迎えました。入居された方も環境が変わりますが、入居していた方も数年来培ったお互いの暗黙の動きやペースなどがあつたようで、あちらこちらで調整が必要になりました。いい具合にお互いを見ながら関係を築いておられたんだなと思いました。新しく入居者された二名を含めた関係が徐々に出来ていくと思えますので、見守り、調整していきます。

さて、十一月の上期経過報告の面談で、利用者満足度調査を実施しました。調査へのご協力ありがとうございました。十二月十五日で一旦締め切った分の集計結果を同封いたしますので、ご確認下さい。(ご利用者家族の方のみに同封いたします)

良くなっていた項目は次のとおりです。

- 1―②職員のことばづかいは良いですか
 - ⑤職員は良く声をかけたり、話しやすいですか
 - ⑥したいこと、してほしいことはすぐに対応したり、知りたい事をすぐにおしえてくれますか
 - ⑦みだしなみに気を付けてくれますか
 - 2―⑦お知らせや掲示物は見やすいですか
- 職員の対応については、「めくばり、きくばり、おもいやり、あ

りがとう」のスローガンのもと、行動目標を決めて実施している効果がでてきたのかなと思います。掲示物については、利用者さんの視線や貼り方などに気を付ける掲示物マニュアルを作成したため、意識の統一が図られたようです。

一方、「良い」の割合が下がった項目は次のとおりです。なぜ下がったのか原因を考えていきます。

- 1―④病気やケガなどの緊急時の対応はしっかりしてくれま
すか

⑤食事は美味しいですか

⑨個別支援計画には希望が入れていますか

食事については、「わからない」と答えられたご家族の方も多かったです。新型コロナウイルスの影響で施設の食事を食べる機会がなくなっていることも原因だと思えます。

個別支援計画については、十一月の職員研修で個別支援計画作成についての研修をしました。これから令和四年度の個別支援計画原案を作成しますので、希望が反映できるようにしていきます。この他、集計していて気にかかった項目として、2―⑪困った時、嫌な時に施設や施設以外にも相談できることを知っていますか、少しずつ改善してはいますが、「良い」が五十%止まりです。

苦情解決研修を受講した際、苦情体制のお知らせは多い方が良いのだなと感じましたので、頻度を上げていく方法を検討します。

十二月から令和四年度の事業計画を作成し始めました。満足度調査の内容を計画に盛り込めるようにしていきたいと思えます。



支援課長 木庭 由香

主任より

三十周年

今年はつくしの里が開園し三十周年の節目の年でした。八月には開園記念式典が開かれ、新型コロナウイルスの対策を行いながら、利用者さんと職員でささやかではありましたが、お祝いをしました。

思い返せば私が入社した平成二十三年は、開園二十周年の年でした。その時は、現在のいきいきグループときらめきグループに分かれ、エアポートホテルで記念式典が開かれました。豪華な食事を食べカラオケ等の出し物を行い、盛大にお祝ったのを覚えています。当時、新入職員だった私は、記念式典と言いつつも、利用者さんをホテルまで引率し食事介助等を行うのがやつとの状況で、二十周年という重みをそれほど感じていなかったのではないかと思います。

月日が経つのは早く、あれから十年…。こうして三十周年という節目の年につくしの里に携わらせてもらっている事に感謝しながら日々業務を行っています。新人だった私も、今回の記念式典では、利用者さんに観てもらおうDVDの作成や三十周年記念誌の作成に携わっています。つくしの里が開園に至った経緯や、開園するまでにはたくさんの方のご尽力があった事。開園してから、これまでの歴史等、掲載する写真を探し、見たりしながら振り返る事が出来ました。

私が入社してからの十年間においても、熊本地震や阿蘇山の噴火、新型コロナウイルスの蔓延。つくしの里では、風呂場の建設

や情操棟の建て替え等さまざまな事がありました。言葉で三十周年という事は簡単ですが、実際に歴史を振り返ってみると感慨深いものがあり、その重みを改めて感じた所です。一つひとつの出来事を振り返りながら色んな方の想いを背負い、これからの十年間、そして四十周年に向け歴史を作っていく一員になればと思います。

主任支援員 小嶋 健仁

施設PR委員会 今月の1枚！



**新型コロナウイルスが落ち着き、外出可能な日常が戻ってきました！
それにしてもこの量…完食されたのでしょうか？**

職員より



12月の5班は繁忙期を迎え、朝のウォーキングを作業室での体操やマルチタスク運動に変更したり、入出荷作業を他班職員に依頼したりしながら作業時間を捻出し、取引業者さんへの納品を無事に完了する事が出来ました。利用者の皆さんも毎年の経験から「頑張らんば、年が越せん!」「工賃貰っとるけん、頑張るよ!」と元気一杯作業に取り組み、利用者間の揉め事も少し減った様な気がしました。新年を迎え、5班の恒例行事となっています菊池「北宮神社」に初詣に出かけ、コロナに負けず、笑顔で楽しい1年が送れますよう、願掛けしたいと思います。今年も宜しくお願いいたします。(支援員 後藤)

社会人になって、つくしの里に就職してもうすぐで2年になります。大学生の時は働く自分を想像できず、働くことに対する不安が沢山ありました。実際に働きはじめ、不安なこと、困難なことなどありますが、先輩職員や利用者さんに支えられ仕事に取り組む事が出来ています。良い職場環境に恵まれていることに感謝です。

生活介護班5班に所属しており、12月に入り初めて作業の「繁忙期」というものを経験しました。とてもとても忙しいですね。コロナが流行する前は、この忙しさを利用者さんは毎年経験していたのか…!と思うと頭が上がりません。利用者さんに負けないよう、足を引っ張らないよう精一杯でした。今年は、てんやわんやしてしまったので、来年は気持ちにゆとりを持ち作業がスムーズに進められるよう、また利用者さんから頼りにされるよう日頃の作業から私なりに頑張っていきたいと思います。(支援員 田中)

調理場より

昨年は、ほとんど実らなかったつくしの里の柚子ですが、今年はたくさんの実をつけました。11月には黄色く色づいていましたので、4班の利用者さんと職員で収穫していただき、早めの柚子風呂となりました。食事では、和え物やさつま芋の柚子煮、もちつき大会では柚子湯を提供しました。利用者さんは「柚子が入っているね」と気づいてくださいます。新しい年が始まります。旬の味や食材の持つおいしさを伝え、利用者さんの健康を祈りながら、元気になる食事を提供したいと思います。(管理栄養士 奈須)

サービス向上委員会より



■ 風呂・トイレ【支援員 中尾・三木・井】

少しでも温泉気分を味わっていただけたらと思い、月2回「温泉の日」として入浴剤を使っています。冬至には1ヶ月早かったのですが、つくしの里で収穫した柚子を入れた「ゆず湯」は利用者さんに大好評でした。大浴槽だけでなく、ローズの泡風呂など、職員から提供された入浴剤を使い、個浴槽ならではの楽しみ方も工夫しています。今後も利用者さんの意見を聞きながら、要望に応じて入浴剤と一緒に選んでいきたいと思っています。

この他、トイレのマナーに関してのポスターを掲示し、皆さんが気持ちよく使用できるように伝えています。

研修報告

※11/21(日)～12/20(月)に受講した研修について報告します

◆ 意見交換会及び講演会

【12月9日(木)～10日(金) ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ】

国立のぞみの園さんを中心に、高齢知的障がい者の認知症に伴う行動・心理症状(BPSD)に焦点化した研究が行われています。その中で、認知症に伴う心理症状と問題行動に気づき、その背景要因を分析、支援計画に結びつかせるための「BPSD ケアプログラム」が開発され、その実用化を見据えた研究発表がありました。具体的には、①評価尺度を用いBPSDの「観察・評価」、②背景要因(ニーズ)の分析、③ニーズを踏まえた「ケア計画」の策定、④計画に基づくケアの「実行」の4つのステップを、チームでくり返しながらか、症状の改善を図っていくものです。BPSDを評価する際に、頻度や重症度を点数化し、「見える化」することが特徴です。点数化することで、どの部分を優先的にケアした方が良いのか絞ることができ、またケアを実行した後に再度点数化することで、そのケアが本当に有効であったのか、わかりやすく見ることができます。まだ試行の段階の為、今後も研究を重ね、より良いプログラムを作っていくために研修会や意見交換会が開かれるとの事でした。利用者さんの為に生かせることを少しでも多く吸収し、現場にフィードバックできればと思います。(支援員 尾崎あ)

◆ 防火管理者講習【12月9日(木)～10日(金)熊本西消防署】

2日間に渡る講義で防火管理の重要性を知ることができました。火事は日頃の注意・点検で予防できること、また、火事が起きた場合に被害を最小限に留めるために防火戸やスプリンクラーが十分機能する環境を整えておくことを心掛けたいと思います。



消火器や消火栓の種類と使い方についても説明されましたので、当法人の設備を再確認し、いざという時に慌てないように備えると共に、防災に取り組んでまいります。

(業務課長 光永)

行事報告

※11/21(日)～12/20(月)の実施分について報告いたします

★ やさしさいっぱいコンサート【11月23日(火)大津町生涯学習センター文化ホール】

コロナ渦で外出など制限が多い中「利用者さんに楽しい時間を過ごして頂きたい」という保護者の皆さんの温かい想いで、2年ぶりに保護者会主催のコンサートを開催して頂きました。感染防止のため、利用者・職員・保護者会役員のみでの参加でしたが、大変盛り上がりしました。ゲストは、土と草の匂いのするフィールド・フォーク・オヤジバンド、“あそBe 隊楽団”の皆様！声がきれいで歌がお上手なことはもちろん、歌詞や曲にユーモアがあり、終了後、数日経ってからも「あの曲が耳から離れないんですよー」と笑顔で話してくれる職員もいました。皆さん是非CDなどで聴いてみて下さい♪

会場の見える位置にモニターを設置し、歌詞や曲をイメージしやすい映像を流して下さったのは、本当に親切で、誰もが楽しめるように行き届いた配慮だなと感謝の気持ちでいっぱいです。勉強になりました。

つくしの里 30 周年記念曲「Brightly」も演奏して下さり、作詞作曲をした職員（三木）はボーカルとしてバンドに参加しました！とても気持ち良さそうに歌いあげ、まるでバンドの一員のような様子でした（笑）。保護者会の皆様・あそ Be 隊楽団の皆様、ありがとうございました。（支援員 中尾）



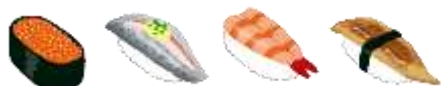
★ 生活介護班③班温泉外出【12月9日（木）湯～庵】

新型コロナウイルス感染症予防の為、利用者さんが外に出る機会がありませんでしたが、11月頃から感染状況が落ち着いてきた為、急遽外出を計画し、行き先は植木の「湯～庵」という家族風呂専門の温泉にしました。職員にとっても「利用者さんと外出するのはいつぶりだろうか…」と思うくらいに久しぶりで、緊張感のある外出でした。大きな事故もなく、皆さん温泉に浸かるなり、笑顔でとても満足そうな表情でした。温泉の後はデザートを購入してもらい、買い物も出来ました。コロナウイルスが落ち着いている今、色々な事を企画して、利用者さんが満足のいく生活が送れる様に支援していきたいと思っています。（支援員 甲斐）

★ 生活介護班④班外出【12月16日（木）蘇ざき・七城の森】

リスクレベルが下がったので、感染対策を行いながら家族湯に出掛けました。当日は、朝から雨の予報で気温も低かったのですが、温泉はぼかぼかと心地よく、肌もすべすべになり大満足でした。帰園後は、お寿司とオードブルで食事を楽しみながらビンゴゲームを行いました。景品が当たって喜ばれる人、職員に景品を見せに来られる人、中々当たらずに待ち遠しい人で大盛り上がり。最後は甘いケーキで締めくくりました。

久しぶりの外出で皆さんのテンションも上がり、笑顔もお腹もいっぱい、心も温くなる良い1日を過ごすことが出来ました。来年は、もっともっと外へ行く機会が増えることを願います。（支援員 松川・穴井ル）



行事予定



☆ 参拝（日吉神社）

期 日：1月11日（火）

内 容：新しい年の無事と平安、利用者さんと職員の無病息災を祈願してきます。

☆ 生活介護班⑤班外出（和水町）

期 日：1月26日（水）

内 容：男性は「上弦の月」、女性は「紅さんざし」で家族湯にゆっくり浸かり、久しぶりの温泉を楽しむことができます。

ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和三年十一月二十一日～

令和三年十二月二十日です



【シヨートステイ・

日中一時支援事業のご利用】

（六名 延べ 二十四日）



【寄付・寄贈】

・安部 渚 様

・井本 チカ子 様

・久保 昭憲 様

・廣瀬 悦美 様

・藤田 孝志 様

・光永 順子 様

・和田 朋子 様

・本田 修祐 様

・三協化研 様

・小竹組 様

・日立システムズ 様

・日清医療食品(株) 様

【ボランティア】

・村里 和洋 様 ・トキコロ 様

・木本 ふじ子 様



編集後記

誠にありがとうございました。
利用者さんの為に使用させて頂きます。
※お詫びとおことわり
里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

新しい年を迎え、今年こそはコロナウイルスに悩まされないことを願っています。さて、令和四年（二〇二二年）は寅年。壬寅（みずのえとら）だそうです。「厳しい冬を乗り越え、春の芽吹きは新たな成長に向けて動き出す年」という意味があるようです。何だか良いことが起こりそうでワクワクしますね。新しいことにチャレンジしてみても良いかもしれません。つくしの里も益々の発展に向けて邁進していきたいと思えます。本年も、どうぞよろしくお願い致します。

